

移民政策学会 2023 年度冬季大会

主催：

移民政策学会

開催校：

龍谷大学

日時：

2023 年 12 月 16 日（土）：13:15～18:15

会場：

龍谷大学深草キャンパス 22 号館

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

開催形式：

対面（国際セッションとシンポジウムについてのみハイブリッド対応）

アクセスマップ：

https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_fukakusa.html

キャンパスマップ：

https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/fukakusa.html

参加費：

会員 無料

非会員（一般） ¥1,000 （学生） ¥500

※参加申し込みには以下の Peatix のフォームをご利用ください。

<https://jamps-winter2023.peatix.com>

※参加の申し込み締切は、2023 年 12 月 10 日（日）23 時 59 分
＜厳守＞です。

＜取材を希望されるメディア関係者のみなさま＞

- 大会の取材は 学会事務局までメールにて事前の申し込みをお願いしております。

- メールには、社名、担当者氏名、取材日時、取材内容（インタビュー、写真撮影、動画撮影等の要否）を記入ください。
- 写真撮影や動画の撮影がある場合は、開催校の腕章を着用してもらう必要があります。
- 取材日当日、担当者の名刺を大会の受付に提出下さい。

◆◆◆プログラム◆◆◆

2023年12月16日(土)

<自由報告>

自由報告 I

13:15～15:15 B101 教室

司会：近藤敦（名城大学）

1. キム・ヴィクトリヤ（立命館大学）、ムヒナ・ヴァルヴァラ（上智大学）、ゴロウィナ・クセーニヤ（東洋大学）「日本における移民の社会統合の課題—旧ソ連諸国からの在日ロシア語圏男性移住者を事例として—」【抄録】
2. 神田すみれ（愛知県立大学大学院）「危機的状況下の支援活動にみる外国人の社会参画へのプロセス—愛知県の支援活動の取り組みから」【抄録】
3. 石井由香（静岡県立大学）「シンガポールにおける外国人高度人材雇用管理の政策的方向性と背景要因」【抄録】

自由報告 II

13:15～15:15 B105 教室

司会：渋谷努（中京大学）

1. 佐々木優香（筑波大学）「ドイツの公立学校における出自言語授業と出自言語能力の承認」【抄録】
2. 鈴木美香（福岡大学）「移民送出し国から移民受入れ国への急激な転換—トリニダード・トバゴにおけるベネズエラ移民・難民向け教育」【抄録】

3. 落合知子(摂南大学)「バイリンガル育成拠点と若者のトランスナショナルな生活圏の構築について—日本・ボリビア間の移動を事例に—」【抄録】
4. 松岡洋子(岩手大学)「災害時異文化間対応力研修—ドイツの事例から—」【抄録】

自由報告 III

13:15～15:15 B103 教室

司会: 石川えり(認定 NPO 法人 難民支援協会)

1. 河本尚枝(広島大学)「ハワイ新一世女性の自営ビジネス—4人の語りから—」【抄録】
2. 牧田幸文(福山市立大学)「ハワイの高齢新1世の定住先～結婚移住した女性たちに着目して～」【抄録】
3. 辻本登志子(立命館大学)「在日高齢結婚移民女性の語りから見えてきた年金へのアクセスの課題とは何か: 関西在住フィリピン人女性へのインタビュー調査をもとに」【抄録】
4. 百瀬圭吾(立教大学大学院)「NGOの外国人支援に対する自治体からの財政的支援—『女性の家 HELP』と東京都の場合—」【抄録】

自由報告 IV

13:15～15:15 B104 教室

司会: 山本かほり(愛知県立大学)

1. 若山将実(北陸学院大学)・俵希實(北陸学院大学)「地方自治体による多文化共生施策の展開—入管法改正とコロナ禍の影響—」【抄録】
2. 鈴木暁子(京都府立大学)「多文化共生社会に向けた課題解決のためのネットワークによるガバナンス—大阪市西淀川区での『たぶんか高校進学セミナー』を事例として—」【抄録】

3. 北部梨奈(京都大学大学院)「在日ブラジル人と関わる日本人は精神的側面に対しどのような影響を受けているのかーインタビュー調査による探索的質的研究」
【抄録】
4. 盧宇晨(慶應義塾大学大学院)「在留外国人の医療サービスの利用状況および健康度」【抄録】

<国際セッション>

13:15～15:15 B102 教室

司会: BROTHERHOOD, Thomas (Rikkyo University)

1. Mobility, Language and Identity Construction: A Study of Contemporary Chinese Muslims in Metropolitan Tokyo from the Perspective of Migration Linguistics [【Abstract】](#)

WU, Di (Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies)

2. Paving Pathways in Japan: Exploring the Intergenerational Legacy of Zainichi Fatherhood [【Abstract】](#)

KIM, Allen (International Christian University)

3. How to Invite Immigrants to Rural Areas in Japan?: The Decrease in Population and the Significance of Immigration Policy [【Abstract】](#)

TOKUDA, Tsuyoshi (Otani University)

<シンポジウム:「変容する世界における日本の移民・難民政策～『世界開発報告2023』をたたき台に> [【抄録】](#)

15:45～18:15 B101 教室

司会: 滝澤三郎(東洋英和女学院大学)

開催校挨拶: ミロシュ・デブナール(龍谷大学)

会長挨拶: 鈴木江理子(国士館大学)

報告:

1. 望月大平(国際移住機関駐日事務所)「世銀報告書と安全で秩序ある

正規の移住の促進—IOMの役割」

2. 井口泰(関西学院大学)「労働市場のマッチング向上と移動リスク抑制への国際協力による移民政策の改革」
3. 杉田昌平(JICA 国内事業部外国人材受入支援室国際協力専門員・弁護士)
「国際労働移動における移住プロセス及び機能並びに開発援助機関の役割」
4. 渡部カンコロンゴ清花(NPO 法人 WELgee 代表理事)「難民認定の代替案
～日本において、難民の自立・活躍を『就労』によって生み出すことの意義と課題～」

ディスカッション

まとめ

18:30-20:00

懇親会 Café Ryukoku &(深草キャンパス 成就館)

懇親会費: 4000 円

参加申し込みには以下の Peatix のフォームをご利用ください。

<https://jamps-winter2023.peatix.com>

※申し込み期限は 2023 年 12 月 10 日(日) 23:59 です。

【理事会・各委員会について】

<12月16日(土)>

企画委員会:10:00~11:30 B104 教室

国際交流委員会:10:30~11:30 B102 教室

理事会:11:50~12:50 B104 教室

編集委員会:18:15~18:45 B105 教室